

# 札幌地区 教育経営研究会

(兼 札幌市小学校長会 10月研究大会)

- 1 目的 北海道小学校長会・北海道中学校長会、及び地区校長会が抱えている教育経営上の具体的な課題を基にした共同研究主題及び各専門部の研究副主題に関する研究実践の成果を発表し、会員の職能向上を図り日常の学校経営に反映させると共に、校長の役割と指導性を究明し、札幌市の学校教育の活性化に資する。
- 2 主催 北海道小学校長会
- 3 後援 札幌市教育委員会
- 4 主管 札幌市小学校長会
- 5 日時 令和4年10月17日(月)
- 6 会場 Zoom Google Meet を使用したオンライン開催
- 7 参加者 札幌市小学校長会(190名)
- 8 日程 

13時30分～14時	Zoom入室
14時～14時25分	開会式
14時25分～15時25分	研究発表1、2
15時25分～15時35分	休憩
15時35分～16時05分	研究発表3
16時05分～16:40分	全体会・閉会式

## 9 開会式

- 開会挨拶 札幌市小学校長会 研究部長 橋本 隆
- 会長挨拶 札幌市小学校長会 会 長 出葉 充
- 来賓挨拶 札幌市教育委員会 教 育 長 檜田英樹 様

## 10 研究提言

「学びの支援部」「教育環境部」「人材育成部」より各30分ずつの研究提言を行う。協議については行わず、ご講評をいただくと共にアンケートによって意見・感想を集約する。

### (1) 学びの支援部提言「一人一人の教育的ニーズに応える学校経営の在り方」

#### ○通常学級で配慮を要する児童の指導

- ア 学びの支援部を委員会ではなく部として組織。特定教職員ではなく全体での取組を進める
- イ 持続可能な情報共有システムを構築することで、教職員の児童理解の意識が高まった。
- ウ PDCA と OODA ループによる補完機能で子どもの姿に即応するスピード感ある支援。

#### ○特別支援学級・通級指導教室での指導の充実。

- ア 学校体制、異校種連携、教育課程に関するチェックリストを活用して自校の教育課程を見直す。
- イ 「評価資料モデル」のフォーマットを作成し、妥当性や信頼性の高い評価規準に基づくと共に、達成状況がわかりやすい通知表作成へ。

#### ○不登校児童への対応の充実

- ア 不登校の3つの段階と3つの要因を掛け合わせたマトリックスを活用し児童の状態を共有化。共通化した対策を推進。

イ 上記を活用して校長の校内支援体制を確立する実効性の高い取組を推進。

(2) 教育環境部提言『未来を創る「さっぽろっ子」の育成に向けた教育環境を充実させる学校経営の在り方』

○民間施設を活用した水泳学習

- ア 市教委と連携して実施体制を把握（移動方法や利用施設の日程調整等）し、教職員へ繋いでいく。
- イ 事前の泳力調査で12人ずつのグループでインストラクターが指導。プールサイドで担任が声掛けして評価する。施設側より3名の監視員配置など指導の実際について。
- ウ 上達をサポートする用具の使用と効果的な指導について。

○ICTの効果的な活用と校長の関わり

- ア 実際の使用例。クローブックのカメラと実物投影機を繋げる。ジャムボードによる意見交流等。また、各教室で同じICT機器を同じ位置にセッティングして使用するなど。
- イ 校長発信で活用術を示したり交換授業で利用スキルの差を解消したりするなど、動き出しをつくる。
- ウ ICT機器活用における校長の役割と指導性は、雰囲気をつくる、動き出しを作る、方向性を示す、取組を支え進める。

○校種間連携における校長の役割

- ア 幼保小連携や小中一貫教育がどの程度機能しているかをどのように把握するか。
- イ スタートカリキュラムを実効性あるものへ。札幌市立幼稚園の有効活用。
- ウ 学校評価項目や保護者アンケートに校種間連携に関する事項を取り入れる。

○通学路の安全確保のための望ましい校長の果たす役割

- ア 新道建設による既存の交通安全施設設備の変更と進まない信号設置要望。
- イ 地域の交通状況やその地域に住む児童の実態把握。それによる具体的手立ての立案。
- ウ 地域や警察との連携による信号機設置への動きと校長の役割と指導性。

(3) 人材育成部提言「人材の育成と働き方改革を実現する学校経営の在り方」

○人材育成

- ア 市の教育の重点や学校課題（今日的取組、授業力向上、働き方改革等）から人材像を明らかに。
- イ 主体性や参画意識を引き出し、自己研鑽を促す、機能性や機動性が高く活性化された組織が人材を育てる。
- ウ 学校の実態（学力向上や政党指導の面）から、校長が教師個人に関わりながら育成する手立て。

○働き方改革

- ア 学校全体での体制（システム）を構築。教育課程編成基準のフォーマットづくりや電子化された共通の懇談資料づくり。
- イ 面談で改革の取組を評価しフィードバックする校長のかかわり。
- ウ 働き方改革チェックシートの作成とその活用による年度計画づくりや評価。

11 閉会式

○札幌市教育委員会 学校教育部長 長谷川正人 様より各専門部へのご講評をいただく。

○各専門部への意見や感想等はアンケートで集約して、後日各専門部より全会員に向けてメールにて回答する。

○札幌市校長会研究部部長の挨拶で閉会。

※北海道小学校長会 紺野 高裕 氏からは令和5年2月2日の全市研修会の開会式にてご挨拶と教育情勢全般にかかわる報告をいただく。